

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立松山商業高等学校
学校番号(25)

評 価 実 施 日		令和7年2月26日(水)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	金 井 マ キ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	橘 川 智 恵	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤 島 寛 昌	ロープウェー商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	佐 伯 美 紀	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田 村 有 希	在宅介護複合施設康復センター星岡施設長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	山 内 孔	松山市立東中学校長	学校関係者評価委員
	中 川 一 也	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	青 野 修 代	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員
	塚 本 強	定時制PTA会長	学校関係者評価委員

全日制

評 価 ・ 提 言 等		提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 - 授業に積極的に取り組む生徒の割合が高い。 (2) 進路指導 - 各種資格取得・検定合格者数が昨年度に比べて下がっている。 (3) 生徒指導 - 現場実習では、礼儀正しい。部活動帰りの生徒が挨拶や声を掛けてくれるのがうれしい。これからも続けてほしい。 - 清掃の意味を理解し積極的に取り組むことに、生徒と教職員の認識の違いがある。 (4) 特別活動 - 部活動は、中学生が高校を選択する際の大きな魅力になっている。部活動の活性化が学校の魅力向上につながる。 - 地域交流活動やボランティア活動、現場実習等には多くの生徒が参加しており、その意義や目的がよく理解できている。しかし、交流活動における充実感、実習における達成感ともに低いので、改善が必要である。		- 教科指導が充実していると判断できる。主体的・対話的で深い学びの視点に立ち、タブレット端末の更なる活用を含め、今後とも授業改善に取り組んでいく。 - 検定試験は、進路実現や自己啓発に役立つことを理解させ、積極的な資格取得を進めていく。 - 引き続き、「明るく、いつも、先に、常に」を心掛け、挨拶の励行に努める。 - 生徒の清掃に対する価値観が年々低下している。年度初めの指導を徹底するとともに、教職員が監督しやすい状況を作る。 - 過去の実績や伝統など総合的に判断し、本校の特色のある3つの部活動を令和8年度に魅Can部に指定し、魅力発信していく。 - 交流活動に主体的に取り組んだが、全員参加ではないため、評価が低くなったと思われる。全校生徒が参加できる活動を考えたい。実習直後の気持ちと時間が経過した時の気持ちに差があるので、直後の気持ちが継続できるような活動を目指す。
2 学校運営への提言 - 生徒会から要望が上がった60年ぶりとなる制服の変更では、生徒会長、副会長の熱意に動かされた。考えて、行動に移す生徒からは頼もしさを感じた。積極性や行動力のある生徒の育成をお願いしたい。 - 活気があってよい学校だと思う。先生も親身になって指導してくれている。今後も、魅力のある活力を持った学校経営に努めてほしい。 - 防災については、愛媛県の防災ポータルや松山市のマイ・タイムライン等		- 時代を生き抜く力が発揮できるように、心身の健康と他者とのつながりを大切に、失敗を恐れずチャレンジする精神を育て、常に学び続ける力を磨いていく。生徒の頑張りを支える教員の頑張りによって、生徒の成長、教職員の成長を育てていく。 - 災害に対しての正しい判断や主体的行

で情報発信が行われている。災害時に取るべき行動を身に付けられるように防災教育でも学んでいる。引き続き、防災意識を高めていってほしい。	動、安全確保行動が身に付くように、緊急地震速報を活用した予告なし避難訓練を積み重ねていく。併せて、地域や近隣の学校、自治体等と連携し、継続した防災避難訓練等の実施や協議を重ねていきたい。
---	--

定時制

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
今年度の最終評価について (1) 教科指導 ・昨年度に引き続き、全生徒が各種検定試験に挑戦できたことは、商業高校として素晴らしいことである。 ・生徒の授業満足度や、学んだことが役に立つと考える生徒の割合が高くなっている。今後も継続した指導をお願いしたい。 (2) 特別活動 ・生徒会が中心となって、運動会や各種レクリエーション等を積極的に行っている様子であり、満足度も高いようである。修学旅行も生徒会からの要望を受けて計画しているとのことで、有意義なものとなるようにお願いしたい。 (3) 生徒指導 ・本年度、退学者は0人で、大きな事故もなくよかった。出席率は例年並みだが、やや低下している。 (4) 保護者連携 ・ホームページが定期的に更新されており、生徒の学校での様子がよく伝わってくる。今後も情報発信に努めていただきたい。 (5) 進路指導 ・個々の生徒に寄り添って指導されている。進路実現に向けて今後も指導をお願いしたい。	・生徒は検定試験合格への意欲が高い。今後も個別最適な指導を心がけ、生徒の意欲・能力を引き出していきたい。 ・今後も分かりやすく特色ある授業のため、さらに授業改善に努めたい ・今後も生徒の主体性を尊重しながら生徒の輝ける学校行事等を実施していきたい。 ・生徒たちが自分自身を調整しながら、学業に取り組めるよう、あたたかい人間関係を保つ生徒指導を心掛けたい。登校しやすい雰囲気作りを進めていきたい。 ・今後もホームページでは学校活動の様子等を発信していきたい。 ・個人面談等を通して各学年に応じた進路指導に努めたい。個別最適な進路指導を全教職員で連携して行っていきたい。